

プロフィール(基調講演)

田村 明比古 成田国際空港株式会社 代表取締役社長 (基調講演&パネリスト)

東京大学法学部を卒業後、1980年に運輸省(現国土交通省)へ入省。1985年には米国コーネル大学にて経営学修士課程を修了。航空をはじめ、鉄道、港湾、観光等、主に交通分野の業務を長年にわたり幅広く経験。1995年から約3年間、外務省在アメリカ合衆国日本国大使館の参事官を担当し、日米の交通の発展に寄与するなど、国際的分野でも活躍。2012年より約3年間、航空局長を務め、その後の旺盛な航空需要に対応するため、首都圏空港の発着回数を1.5倍に増加させるとともに、民間に対し空港運営委託の実施を促進するなど、日本全国の航空・空港の発展に貢献。その後、2015年より約3年間、観光庁長官を務め、訪日外客数を2020年には4,000万人、2030年には6,000万人まで目指す目標を掲げるとともに、「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定することにより需要を底上げした。また、受入れ体制の強化として、国際観光旅客税を導入する等の観光施策を実施。地方においても観光を通じた地域活性化に取り組み、官民一体となったインバウンド受入れ体制の整備に尽力。結果、訪日外客数2,000万人を突破させ、その後の3,000万人突破にも大きく貢献。2019年6月、成田国際空港株式会社の代表取締役社長に就任。

